

経営ビジョン

高度化する“ものづくり”において、
進化するデジタル・コア技術を活かし、
お客様の競争力向上に貢献する企業を目指します。

経営理念

All Happy

社員ひとりひとりが幸せであることを追求していきます。

「3C+C」

あらゆる変化(Change)を機会(Chance)と捉え、
果敢に挑戦(Challenge)し、核(Core)となる存在を
目指していきます。

One Team

One Teamの精神で個々の知恵を最大限に結集し、
顧客に最適な ITサービスを提供していきます。

Win&Win

全てのステークホルダーと Win&Win の関係を
築いていきます。



当社は、IT技術の進化をいち早く、ものづくり現場に適用し製造業の
競争力強化に貢献することを目指しております。長年ファソテックで
蓄積してきた技術やノウハウを継承しつつ、デジタル先進技術を
駆使し、より多様化するお客様のPLM環境に対応して、お客様
へのITサービスを強化してまいります。
今後ともより一層のご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 陳 張明

DigiCORE

株式会社デジタル・コアサービス

TEL.043-212-2530

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟21
E-MAIL:info@digicore.co.jp

<http://www.digicore.co.jp/>

デジタル・コアサービス Q

DigiCORE

COMPANY PROFILE

01

現場を知っているから、現場の悩みがわかる

当社の強みは何よりも「現場を知っている」こと。私たちの歴史は自動車部品の金型製作から始まり、前身のファステック社から数えると実に30年以上、金属に触れ現場と対峙してきました。その経験と記憶はCAD/CAMへと活かされ、現在のCAEやPDM、そしてIoT時代に向けた次世代PLMシステムの開発まで脈々とつながっています。

02

「使えるシステム」を作るのが最終目標

ただ求められた仕様を形にするのではなく、最大の効率化を実現しながら「使い勝手が良くなった」「作業が速くなった」と喜んでいただぐことが、私たちの最終目標です。

03

真の要件を引き出すヒアリングと、納得の提案書

私たちが細かくヒアリングを行うには理由があります。それは、本当に必要な開発だけに絞りたいと考えるからです。私たちは予算ありきのシステム構築はしません。はじめに現場での課題を顕在化させ「最小限のコストで最大限の効果を生み出すにはどうすればいいか」を探ります。

04

サービスに特化した技術者集団

前身時代から評価が高かった、1責任者制はそのまま生かしています。ヒアリングから納品まで1人のプロジェクトリーダー(PL)が窓口となり、すべてのお問い合わせを受け付けます。急遽発生した変更などもPLが調整し、工程を円滑に進行させます。

当社の強み Our strength

モノではなく技術とサービスを提供する企業

DigiORE

IoT時代を見据えて次世代PLMシステム構築を支援します

お客様の設計製造現場には匠の技(コアになる技術)が存在します。私たちは匠の技をデジタル化し、お客様のソフトウェア資産にすることで技術継承を確かなものにし、設計製造現場の効率化を実現してまいりました。IoT時代のPLMシステムは、世界中の標準化された技術・情報をベースとして、匠の技をシームレスに関係者間で共有することを可能とした、新たなステージとなります。私たちは最新のソフトウェア技術を駆使して、設計製造現場のさらなる効率化を実現し、お客様の競争力向上に貢献します。

課題を解決する効率化サービスの提供 ものづくり現場密着型

Stage1

CAD/CAM
作業効率化と標準化
ソフトウェア開発

設計テンプレート



設計プロセス自動化



生産設備制御



ポストプロセッサ



当社の強み

モノではなく技術とサービスを提供する企業

DigiORE

プロジェクトの重要成功要因

01 提案フェーズ

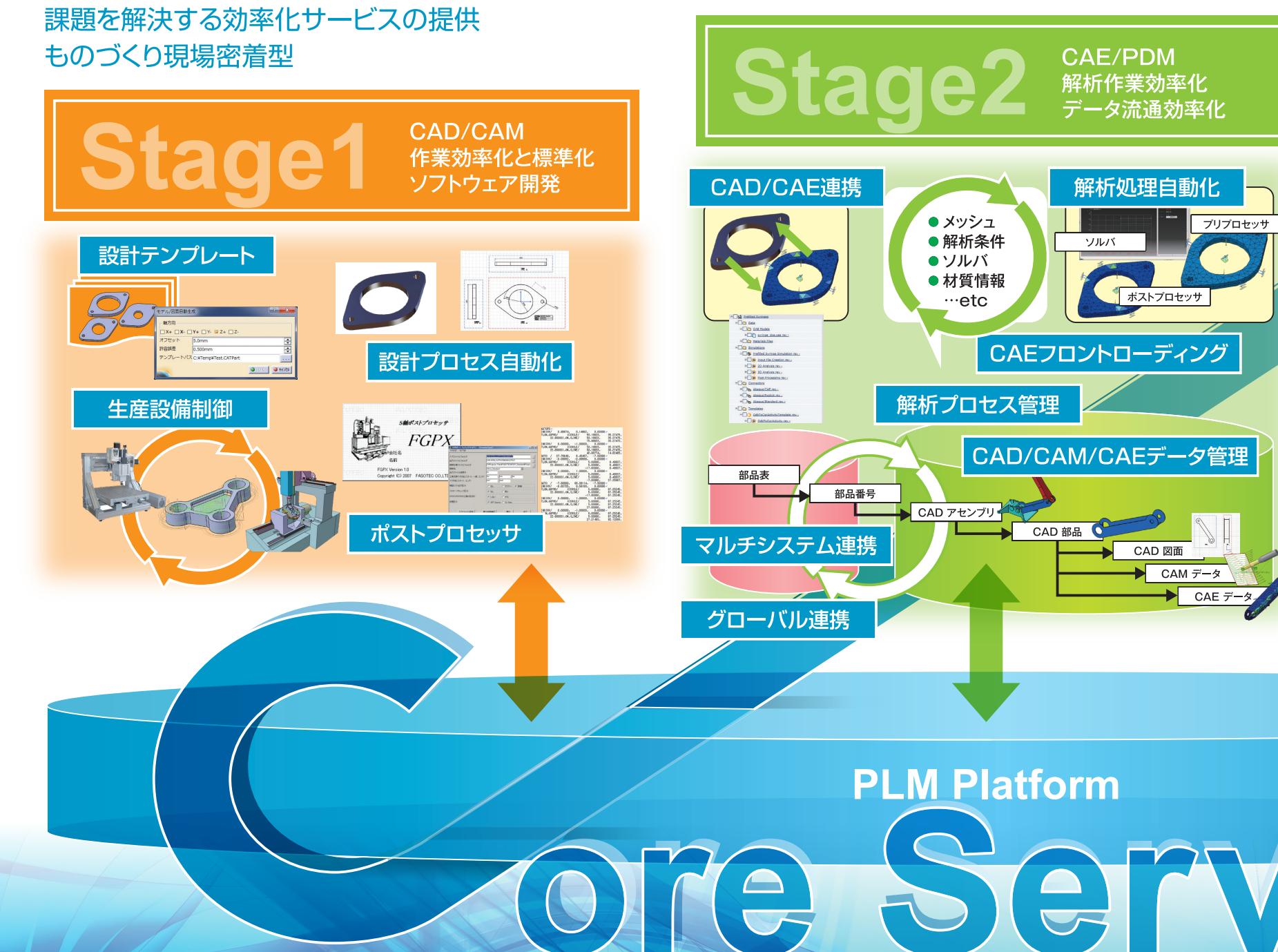
現場を精査し、本当に必要なシステムをご提案
お客様のニーズを詳しくお聞きして、費用対効果が最も高いプランをご提案します。ヒアリングから納品まで1案件に対し1人のプロジェクトリーダー(PL)が責任者となり、お客様からのお問い合わせに対応します。

02 実行フェーズ

どのスタッフも「さらに改善」を求めて開発
正式にご契約頂いた後、設計開発スタッフによる具体的な実行フェーズに入ります。
システム開発は小さな工程の確実な積み重ねです。
定期的なご連絡と柔軟な対応を心がけています。

03 運用フェーズ

導入後も安心が続く、さまざまな運用支援
システムは現場で運用して初めて価値が生まれます。私たちもユーザーの皆様に心地よく使っていただけるのが目標です。安心してシステムを導入・運用できるよう、「瑕疵期間調整」「訪問セミナーでのフォロー」「運用支援サービス」「プロジェクト結果の検証」などのサービスを用意しています。



ore Service

全体最適を追求した業務革新的な効率化サービスの展開